市の交通の安全を守る交通安全推進隊

現在は 21 人の隊員が活動中。

交通安全推進隊は、交通安全に関心と意欲をもった人たちが、日常的に交通安全活動を実践する組織です。

通学時の横断歩道などでの街頭指導やじょんからまつりなど市の各種行事へ参加し、市の交通安全の推進に努めています。

主な活動内容

じょんからの里マラソン大会での活動。

4月　春の全国交通安全運動（赤ランプ作戦・街頭指導）
7月　夏の交通安全県民運動（赤ランプ作戦・街頭指導）
8月　じょんからまつり（交通整理）
9月　秋の全国交通安全運動（赤ランプ作戦・街頭指導）
10月　じょんからの里マラソン大会（交通整理）
12月　年末の交通安全県民運動（赤ランプ作戦・街頭指導）

交通安全推進隊の募集

夜間の危険な交差点に立って歩行者を保護。

入団資格　市内に居住または市内の事業所に勤務する心身ともに健康な人
活動補償　活動中の負傷などに対しては保険が適用されます
被服など　必要な被服や装備は市が貸与
定員　30人
任期　3年

問　環境安全課　☎227－6051

＼Interview／

隊長　北村 淳平 氏
（太平寺1）

活動を始めたきっかけ

交通安全推進隊がスタートしたのは、昭和48年。各家庭への車の普及に伴う事故の増加を少しでも減らすため組織されたのが交通安全推進隊でした。私は、昭和54年に当時お世話になっていた中島元町長に頼まれたのがきっかけで隊に入り、今年で40年目になります。

活動の先には

季節ごとの交通安全運動の期間中には交通量の多い交差点に立ち、歩行者の保護やドライバーへの啓発を行っています。警察に似ている制服を身に着けている私たちが路上にいることで、ドライバーの安全意識を高める効果があります。「かかし」のようなもので地味な活動ですが、皆さんに交通安全や交通マナーについて意識してもらう大切なきっかけになってると思います。誰もが被害者にも加害者にもならないよう、事故件数が少しでも少ないまちになるよう地道に取り組んでいきたいと思っています。